

目 次

第1部 実践編

I. マニュアルの活用にあたって

1. マニュアルの4つの目的……………1
 - 1) 救急医療の円滑な遂行に寄与する
 - 2) アルコール患者の早期回復の機会を活かす
 - 3) 簡易介入法(SBIRT)の利用を推進する
 - 4) 多機関・多職種による地域ネットワークの形成に努める
2. アルコール救急対応時の参考として利用してください
3. アルコールを巡る病理とSBIRTの理解に役立ててください

II. アルコール救急診療

- 図1 アルコール救急診療フローチャート……………2
1. 鑑別すべき病態……………3
 - 1) 急性アルコール中毒
 - 2) 低血糖
 - 3) アルコール性ケトアシドーシス(AKA)
 - 4) ウェルニッケ脳症
 - 5) 飲酒や過量服薬が疑われる自殺企図
 - 6) 脳出血・脳梗塞
 - 7) 頭部外傷
 - 8) 振戦せん妄
 - 9) アルコール離脱けいれん発作
 - 10) 肝性脳症
 - 11) 抗酒剤服用後の飲酒
2. 酩酊についての正しい理解……………5
 - 1) 酩酊時の行動は、その人本来の行動ではない
 - 表1. 酩酊と脳
 - 表2. 救急現場で示される「患者の焦燥感」
 - 2) 酩酊パターンには個人に特有のパターンがある
3. 急性アルコール中毒のレベル評価……………6
 - 1) 酩酊行動と急性アルコール中毒のレベル
 - 2) BAC(血中アルコール濃度)と急性アルコール中毒のレベル
 - 表3. ステージ別のBAC・酩酊状態・飲酒量
4. BAC(血中アルコール濃度)は役立つ……………7
 - 1) 鑑別診断・治療や再発防止
 - 2) アルコール依存症の鑑別診断
 - 3) 飲酒しているかどうかの判定
 - 4) 入院病棟での飲酒を抑制する効果
 - 5) トラブルの回避
 - 6) 飲酒運転の防止
 - 7) 最終飲酒時のBACの推定
5. 酩酊と暴力……………8
 - 1) 酩酊者への対応上の注意
 - 2) 暴力の予防
 - 3) あなたの怒りを鎮めるアングアー・マネージメント(Anger Management)
 - 4) 迷惑行為と警察への通報

6. 離脱症状について	11
表4. CIWA - Ar(Clinical Institute Withdrawal Assessment for Alcohol Scale, revised)	
III. SBIRT	
1. SBIRT の全体像	13
表5. SBIRT(簡易介入法)	
2. SBIRT 第1段階 ―スクリーニング―	14
1) 「危険な飲酒」と「アルコール依存症」のスクリーニング	
2) スクリーニング・ツール	
表6. CAGE	
表7. AUDIT - C	
表8. WHO の診断基準 ICD - 10	
3. SBIRT 第2、第3段階 ―介入と専門治療への紹介―	16
1) 救急受診者への対処	
2) 頻回救急受診者への介入	
表9. FRAMES に基づく介入のポイント	
3) 家族への情報提供と介入	
4) 地域連携・医療相談室が行う家族への情報提供と介入	
表10. 家族が患者に話すときの注意点	
IV. 各機関の役割	
図2 アルコール救急地域連携フローチャート	19
1. 救急隊の役割	20
2. 救急病院の役割	
1) 環境の整備	
2) 救急医・当直医の役割	
診療時の対応	
治療終了時の対応	
3) 救急看護師の役割	
4) 医療ソーシャルワーカーの役割	
3. アルコール専門医療機関の役割	
4. 精神科病院の役割	
図3 愛知県精神科救急の体系図	
表11. 精神科救急輪番制当番病院	
5. かかりつけ医の役割	
6. 警察官の役割	
表12. 警察官職務執行法 第三条、	
酒によって公衆に迷惑をかける行為の防止等に関する法律 第三条	
7. 保健所の役割	
8. 地域保健担当課の役割	
9. 地域包括支援センターの役割	
10. 障害福祉担当課及び相談支援事業所の役割	
11. その他の機関や関係者の役割	
V. 関係機関相互の連携体制	
1. 関係機関の連携の必要性	27
2. 連絡網の整備	
3. 事例検討会議の開催と記録	

第2部 理論・資料編

I. 文献による知識の補足	
1. 「SBIRT」について	28
2. 学会によるSBIRTの推奨	
3. 学会によるBAC(血中アルコール濃度)の推奨	
4. BAC(血中アルコール濃度)のエビデンス	
5. アルコールが関与する外傷の頻度	
6. 外傷とSBIRT	
7. 日本のアルコール救急についての調査	
8. アルコールと自殺の関連	
表 13. 救急外来における自殺企図群とコントロール群	
9. 自殺既遂者の調査	
表 14. 法医解剖例における自殺方法と血中アルコール検出率	
II. SBIRTの実践上の留意点	
1. ブリーフ・インターベンション(簡易介入)	33
2. 患者が飲酒行動を変化させる準備の必要性を感じていない場合	
3. 患者の変化についての現状を評価する	
4. 専門治療に紹介する時の注意点	
5. フォローアップ中の注意点	
6. 断酒を強くアドバイスする場合	
7. 節酒か断酒を判断する場合	
8. 節酒や断酒の良い点	
9. 節酒や断酒の悪い点	
10. 危険の少ない飲酒の良い点	
11. シラフになったら、出来ること	
12. 紹介システムを構築する	
III. 救急医療現場におけるアルコール問題アンケート結果	36
IV. 関係機関の連絡先一覧	
アルコール健康障害相談先一覧	37
引用文献	39
作成介入ツール及び参考資料	43
資料① アルコールと楽しく上手に付き合うために(一般向け)	45
資料② アルコール健康障害ってなに?(一般向け)	47
資料③ お酒の飲み方大丈夫?(一般向け)	48
資料④ アルコール健康障害啓発ポスター(一般向け)	49
資料⑤ チェックテストと診断法(一般向け)	51
資料⑥ アルコール問題に関する相談先	52
資料⑦ クラフト法簡略版(家族向け) (刈谷病院 作成)	53
資料⑧ SBIRTの進め方(四日市アルコールと健康を考えるネットワーク 作成)	59
資料⑨ アルコール関連問題連絡票	71
資料⑩ 夜間休日における精神科病院の酔酩患者対応基準	73
資料⑪ アルコール離脱せん妄の治療(沖縄協同病院心療内科 小松知己 作成)	77
資料⑫ アルコール健康障害対策基本法(平成26年6月1日施行)	79
資料⑬ 悩みを持つ方への相談窓口一覧(関係機関用)	87
資料⑭ 悩みを持つ方への相談窓口一覧(本人・家族用)	89
資料⑮ つなぐカード	91
資料⑯ 問題チェックシート、レーダーチャート	93